

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	SENBOKUスマートシティ構想推進事業				事業番号	016-006	
担当部署名	泉北ニューデザイン推進室	局	泉北ニューデザイン推進室	部	スマートシティ担当	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造		
			有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実					
		寄与するKPI	有・無	指標名	泉北ニュータウン全人口に対する39歳以下の人口割合					
			有	現状値	29.5%(2025年推計値)		目標値	30.5%(2025年度)		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
			有	取組	市民のQOLを高めるスマートシティの推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画		SENBOKU New Design（本市策定）、堺スマートシティ戦略（本市策定）							
3	事業開始年度		令和 4 年度			点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)									

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	泉北ニュータウンを含む南区域（南区市民、事業者など）	対象数	単位
			約140,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	泉北ニュータウン地域において、公民連携でICTを活用しながら、分野横断的に地域課題の解決などに取り組み、人々が暮らしの質を高め（Live SMART）、暮らしを愉しむ（Play SENBOKU）ことで地域に新たな価値を創造することを目指す。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	(事業概要) 公民連携により、生活利便、居住魅力向上に向け、モビリティやヘルスケア等さまざまな分野におけるサービスを享受できる環境を形成する。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	(取組内容) ・サービスの形成を推進する公民連携の組織である「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」の運営 ・サービス提供における実証事業や、サービスの社会実装を支援する事業を実施する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	民間事業者		
10	公民連携・協働事業	公民連携事業		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	39歳以下人口比率（各年12月末） （社会情勢から減少は避けられないが、推計値より減少を抑える）	%	目標値	30.5	29.9	30.2	30.5
			実績値	29.9	29.4		
達成率			98%	98%			
	当該指標を選定した理由	泉北ニュータウン外への転出超過が39歳以下の世代で顕著に表れているため					
	目標値の設定根拠・算出方法	39歳以下の人口比率は年々減少し、2025年の推計は29.5%になることが見込まれ、1%上回る30.5%を目標とする。					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	実証事業、実装事業数	件	目標値	3	5	3	
			実績値	11	15		
達成率			367%	300%			
	当該指標を選定した理由	先導的事業の実施によりスマートシティの取組を進め、エリアブランドの向上と若年層を中心とした人口誘導をめざすため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和4年6月に設立した「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」における実施事業を想定					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	SENBOKUスマートシティ構想推進事業	事業番号	016-006
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	内訳	項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算
13	財源	事業費（a）	0		9,500		16,000	6,579	14,000
		国支出金			4,750		8,000	3,290	7,000
		府支出金							0
		市債							0
		その他（寄付金）			4,745			3,100	2,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)							0
		一般財源			5		8,000	189	5,000
14		人件費（b）	0		22,960		24,300	24,300	24,300
15		年間経費（c）=（a）+（b）	0		32,460		40,300	30,879	38,300

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費	内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	SENBOKUスマートシティコンソーシアム負担金	R5	決算	2,000	189		R5	決算		
			R6	予算	2,000	1,000		R6	予算		
		実証事業負担金	R5	決算	4,579	0		R5	決算		
			R6	予算	12,000	4,000		R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
			R6	予算				R6	予算		
			R5	決算				R5	決算		
			R6	予算				R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

事業費	内訳	区分		単位	令和4年度	令和5年度
17		①	実証事業、実装事業数	件	11	15
		②	上記①にかかる年間経費	千円	32,460	30,879
		③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,950,909	2,058,600
		備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和5年度からは、SENBOKUスマートシティコンソーシアムによる新規事業の組成につなげるため、事業創出支援補助金の創設やビジネスマッチングイベントを行うなど、会員企業間の連携の強化を促す施策を講じたことで、15件の実証事業を実施することができた。 スマートシティの取組は、民間企業が持つ知見やサービスを地域課題の解決や地域の魅力創出につなげるもので、新たな事業を組成するには、民間企業との再三にわたる協議の結果、初めて事業実証に至るもので、全ての案件が事業化されず、数字に表れにくい稼働があることも一定避けられないと考える。 一方で財源として国のデジタル田園都市国家構想交付金や企業版ふるさと納税を活用して効率的に新たなサービスや事業の創出に取り組んでいる。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和4年6月に「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」を設立。参加団体は令和5年3月の133団体から153団体まで増加（3月28日現在）しており、民間企業を中心に多方面から注目されている。また、コンソーシアムが起点となり令和5年度に実施した実証事業は15件あり、泉北ニュータウン地域において様々なスマートシティの取組が進められている。こうしたことから泉北ニュータウン地域において、公民連携により地域の課題解決と新たな価値の創造に取り組むことで地域ブランドが醸成され、若年層を中心とした人口誘導につながるものと考ええる。
----	--